

育林費用比較表・・・食害を受けた苗木にヘキサチューブを被せる

不成績造林地の再生法の比較 (チューブ法と従来法)

チューブ法

| | | |
|--------------------|-----------|----------------|
| 地拵費 | 160,000 | 8人 全刈 1回 8人/ha |
| 苗木代 | 0 | |
| 植栽費 | 0 | |
| 食害防護費 ヘキサチューブ | 1,366,667 | 資材費 設置費を含む |
| 初期コスト計 | 1,526,667 | |
| 下刈費 | 0 | |
| 補修見廻費 | 120,000 | 6人 2人/年 3年間 |
| 除伐 間伐費 (蔓切と兼ねる) | 60,000 | 3人 1回 |
| 管理コスト計 | 180,000 | |
| 計 | 1,706,667 | |

ヘキサチューブ設置歩掛 75本/日
資材セット単価 @1100 として
ただし、人件費20,000円/人・日として計算

従来法 (防護柵使用)

| | | |
|-----------------|-----------|--------------------------------|
| 地拵費 | 540,000 | 27人/ha |
| 苗木代 | 240,000 | 3000本/ha ヒノキ@80 |
| 植栽費 | 400,000 | 20人 3000本/ha植栽 |
| 食害防護費 防護柵 | 904,700 | 資材費 設置費を含む |
| 初期コスト計 | 2,084,700 | |
| 下刈費 | 860,000 | 43人 1年目5人 2年目8人 3年目以降10人 5年 |
| 補修見廻費 | 200,000 | 10人 2人/年 5年間 |
| 除伐費 (蔓切と兼ねる) | 360,000 | 18人 1回目7人 2回目6人 3回目 5人 |
| 間伐費 | 360,000 | 19人 1回目7人 2回目6人 3回目 6人 |
| 管理コスト計 | 1,780,000 | |
| 計 | 3,864,700 | |

防護柵資材 設置費・・・当社調べによる
ただし、人件費20,000円/人・日として計算

(注)

- 対象地は、新植後野生動物による食害を受け数年経った造林地
- 上記コスト比較は、全ての苗木が食害を受けたものと仮定
- 対象地に対して、保育事業により獣害防除を実施
 - チューブ法・・・食害を受けた苗木にヘキサチューブを被せる
1000本/ha以上生存していると仮定
 - ネット法・・・改植を行ない、防護柵で造林地を囲む

(ポイント解説)

| チューブ法 | 従来法 |
|--|---|
| ・食われた苗木を利用するので、新植は不要 ・新たに植栽は行なわないので地拵えは不要 チューブ設置を容易にする為の下刈のみ ・ヘキサチューブを被せる割合は3本に1本 (1000本/ha) 食害を受けても尚生きている苗木に被せるのでその後の枯死の危険が少ない 被せた木を確実に育てる | 改植のための苗木代が必要 植栽のための地拵えが必要 改植・・・3000本/ha 枯死の場合補植も必要 |
| ・ヘキサチューブ設置後の下刈は不要 既に根付いている苗木であり、チューブ内での成長は早い 除間伐はチューブ設置後1回のみ チューブを被せて育てた木は、1000本/haのみ 1回の間伐だけで十分 | 従来通りの下刈が必要 従来通りの除間伐が必要 |